

9月の生活表

2023年 9月

聖マリア幼稚園

年主題：つながって ～今、わたしを生きる～

月主題：おもしろい

保育日数（18日）

月目標：＜3歳児＞

- ・生活の中で、心を動かし、神様に愛されていることを感じる。
- ・好きな遊びの中、面白いという気持ちや、友だちといる楽しさを重ねていく。
- ・空や風、果樹の変化を感じながらのびやかに身体を動かす。

＜4・5歳児＞

- ・神さまが望んでおられる平和を祈りあい、一人ひとりに賜物が与えられていることに感謝する。
- ・一人でじっくり取り組んだり、友だちと一緒にイメージを共有する楽しさも感じる。
- ・残暑の中にも秋の訪れを感じ、友だちや保育者と一緒に関心を深めようとする。

どなたかとお出会いして交わす言葉は「暑いですね」そんな言葉の繰り返しをしていた猛暑の今夏。しかし、夜半の虫の声、萩の蕾の膨らみ、秋明菊の開花etc.・季節は少しずつ進み、「小さい秋」の訪れを感じることができるようになってきました。皆さんの毎日の中で、感じられる季節の移ろいはどんなことなのでしょう？子どもさんと「ことば」を添えて神様が創造された「自然」を愛でながらの「秋」はいかがでしょうか？

さあ2学期が始まりました。下半期にお示した内容を見て頂きましたら、「行事」が多いと感じられましたか？いやいや子どもたちにとっての「行事」は心構えを養い、身構えて挑戦し、失敗の中でお互いを許し、認め、共にステップアップし、そして「達成感」を味わい、心で体で喜びあえる「満足」感が与えられるものなのだとご理解いただけると嬉しいです。竹にある節、節があってこそ伸びて（成長して）いくということを聞いたことがあります。強くしなやかに。土壌の中ではしっかり根を張り、地震にも耐えうるだけの根を張ると言われます。幼児期は、成長の根底で「根っこ」にあたる大切な時期と言われて久しいですが、良き土壌とともに、神様からの素晴らしい自然の栄養と人間の手で加える様々な環境がとても大切です。月目標の「おもしろい」の言葉の中で、人それぞれに面白いと感じることは千差万別かもしれません。前向きになれる明るい意味を持っていると言われますが、ふざける面白さ、人を揶揄する時、時に「楽しい」と同義語、また発見する面白さ・・・使って良い時とそうでない時にも触れながら、子どもたちの「心」に宿る瞬時の感性と「やる気」の意欲に向かえる状態だと思います。子どもたちは、年齢に関係なく「集中」して取り組んでいる時に身も心も成長していると言われます。その集中することに出会うためには、小さい時から大人がその状態を中途半端で摘み取ってしまわないことです。子どもたちの遊びの中で、自分で気づく先の目標（時間の示し、音での示し等＝約束）を持ち、遊びに区切りがつけられ、自制心に繋がるようにと。面白いと思ったことに、共感を示すことは次に繋がる大切なことです。通りすがりの瞬時の面白さのみ共感をするのではなく、持続できる面白さも見つけられるととっても楽しい時間が過ぎせるのかもしれません。そんな2学期を共に。

《チャプレンコーナー》

年主題：つながって ～今、わたしを生きる。～

年聖句：9月月間主題：おもしろい

月聖句：人はパンだけで生きるものではない。（ルカ4：4）

古今東西、偉大な宗教指導者は、活動を始める前に悪魔から誘惑を受けています。イエス様も荒野で40日間祈りの生活を送られ、その間、悪魔から誘惑を受けられました。

悪魔からは、3つの誘惑の言葉が投げかけられました。それらは人の心の欲望をかき立てるものでした。一つ目は自己顕示欲、二つ目は金銭欲、三つ目は権力欲でした。それらに対してイエス様は、全て聖書のみ言葉を用いて対抗し、ついに悪魔を追いやることに成功されました。その最初の言葉が、「人はパンだけで生きるものではない」です。食物による体の栄養だけでなく、神様のみ言葉による心の栄養も得ないと、人は生きていけない、と仰ったのです。

「衣・食・住」は、人間の生命維持に必要なものです。これらがないと、私たちは生きていけません。けれども、私たちは、これらだけで生きているわけではありません。学問、芸術などの文化や、人の交わりによる社会、そして心の豊かさも、私たちにとって必要不可欠なものです。

聖書に次のような言葉があります。「信仰と、希望と、愛、この3つはいつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。」（1コリント13：13）「信仰、希望、愛」は信仰の言葉ですが、わたしはこれを、全ての人にとって必要なものと考えています。人への信頼、未来にきっと良いことがあると信じること、そして自分の事だけでなくみんなと一緒に生きていくように助け合い支え合うこと。これらは私たちが生きていく上で、必要不可欠なものです。

「教育」も、掛け替えのないものです。私たちの愛する子どもたちが、幼稚園でたくさん大切なものに出会い、これから生きていく力を豊かに得ていきますように、支えていきたいです。

おたんじょうび おめでとうございます

<生活指導>

☆2学期の始業にともない、規則正しい生活のリズムに戻しましょう。

- ・登園時間を一定にし（8時半～9時）、朝の遊びを大切にしましょう。
- ・体調を整えましょう。（早寝早起き、朝食、うがい、手洗い、入浴、シャンプー、歯磨き、等の励行。）

☆残暑厳しい中ですが、それでもきっと「小さい秋」には出会えます。秋の自然に興味関心（好奇心・探究心等）を持たせる機会を得、親子で向き合ってみましょう。

- ・移り変わる自然：虫取り、虫の声、種取り、秋の花々、木の実、空の雲、気温の変化、山の色など小さな秋を見つけましょう。

☆敬老の日を機会に祖父母の存在を知らせ、接する機会を持って楽しく遊び、昔のお話も聞いてみましょう。

- ・いつも孫達のことを守り、祈って下さっている祖父母に対し、感謝の意を表しましょう。
- ・曾祖父母がご健在でしたら、その方の幼少期の遊びやお話を聞き、またその家に伝わる大切な事柄など、命とともに繋がってきていることを確認し合い、また繋いで行かねばならないことを、幼い子ども達にも知らせる機会を持ってみましょう。

☆ご近所との繋がりも大切にしましょう。

- ・顔見知りのご近所の方々にもご挨拶をしましょう。『〇〇に住んでられる〇〇さん』であることも知らせましょう。

☆子どもたちに与えられている賜物を見つめてください。

- ・自信となりうる事柄、自己肯定感に繋がる数々の行動・所作・思いを涼しくなってくる2学期間を通して、親子で振り返り（赤ちゃんの時から）、考え、今を認め、これからを語り合ってみませんか？（絵本・新聞・TVニュースetc.も活用しつつ）

<クラス担任より>

[花組]

幼稚園に全員の子どもの笑顔が帰ってきました。連日、熱中症警戒アラートが出される酷暑、お盆を直撃した台風等、自然の猛威を感じる夏でした。毎日夏の幼稚園に通い続けたお友だちも、体調不良に悩まされたお友だちも、沢山の夏の思い出で一杯になったお友だちも、みんな一緒に2学期のスタートを切りました！花組は、新た

にpre-preクラスより小花ちゃんのお友だちを一人お迎えしました。嬉しいですね！可愛いですよ！どうぞ、よろしく願いいたします。

朝夕ほんの少し涼しい風を感じる日も出てきましたが、まだ暑さは続きそうです。体調管理、子どもたちの体調の変化には十分に留意しながら過ごしてゆきたいと思いますので、どうぞご家庭での変化やお気づきになられたことは些細なことでも、お気軽にお知らせ、ご相談いただけますように、お願い申し上げます。

9月の月主題は「おもしろい」です。幼稚園が子どもたちにとって毎日「おもしろい」と感じられるように...園生活の中で、心を動かし、「おもしろい」という気持ちや楽しさを重ねてゆけるように...と願って、日々の教育・保育を進めてゆきたいと考えています。その「おもしろい」の中には、これから経験する2学期の様々な行事も子どもたちが「おもしろい」と感じられるものとなることが大切だと思います。また、行事に向かう過程に子どもたちの大きな成長が見られることも、楽しみにしています。

2階では、花組の中に大きな花組の子どもたちと、小花ちゃん。そしてお隣pre-preちゃんたちと...異年齢の関わり、そこから生まれる繋がりがあることが2学期には更に大きな意味を持ってゆくと期待しています。一人ひとりの子どもたちがそれぞれの思いをもって遊びながらお友だちとどの様に関わり、繋がってゆくのか...とても楽しみです。子どもたち一人ひとりが安心して過ごせますように、個別の支援・援助も異年齢の教育・保育ではとても大切です。基本的な生活習慣の習得も含めて、ご家庭と連携を保ちながら、子どもたち一人ひとりの《今》を見極め、個々の育ちにしっかりと向き合っ

てゆきたいと思いますので、重ねてご理解とご協力をお願い申し上げます。

さあ！ご家族の皆様も行事が目白押しの2学期をどうぞお楽しみくださいませ！

[赤組]

「蝉の声がめっちゃ聞こえる！」と例年より少し早めに鳴き始めた蝉の声を聞いて子どもたちは夏を感じ始めました。そんな今年の夏は、体温よりも気温が上回る猛暑続きで、少し外に出ているだけでも汗が滝のように流れ落ちていました。暑くてベタベタする夏だけれど、子どもたちにとっては嬉しい夏だったのです。「どうして夏が好きなのでしょうか!？」「プールに入れるからで一す！」と嬉しそうに話してくれる子がいたくらいでした。今年度の長期夏季保育では、ほとんどのお友だちが幼稚園へ来てほぼ毎日プールを楽しみました。「ひゃ〜〜」と言いながらシャワーの水の冷たさを感じ、太陽の熱で温水になったプールに入ると「あれ、ぬるい」と水の温度の変化も肌で感じていました。プール大好き赤組さん!「バシャーン！」とダイナミックに泳いだり、人魚のように優雅に泳いだり、仰向けになり背泳ぎに挑戦したりと、なかなかのものでした。また、水の中で目をあけてお友だちとジャンケンをしたり、水中でフープをくぐったり、浮き輪に座ってプカプカしたり、、、全力で楽しみ、本当に良い表情を見せてくれました。熱中症に注意しながらもお天気に恵まれ、水と触れ合い遊ぶことができ感謝です。

さて！長いようで短かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。「2学期が始まる」ということを子どもたちはどのように感じているのかな？また、季節も夏から秋へと移り変わりその季節の変化をどう感じているのかな？とっていました。8月の最終週、風が吹き珍しく涼しい日のこと。1人の女の子が登園して靴下を脱ぎながら「今日は靴下履いてきたの。だって秋が近づいてきたから」と話してくれました。「どうして秋が近づいてるってわかったの？」と聞くと「涼しかったからよ。それと、夏で（夏が終わったら）秋になるでしょ」と教えてくれたのです。季節の移り変わりを感じ取っているのだなと思えた瞬間でした。また、2学期初日、シール帳面やお当番表も復活し、絵本も9月の絵本に変わっている変化に気づいていました。子どもたちなりに「新しく始まるんだ」と理解しているのかなと思います。これから始まる2学期、自分のことで精一杯だった1学期から少し周りにも目を向ける余裕が出てきて欲しいと思っています。「何だろう？」と興味をもったことに挑戦したり、失敗しても繰り返し「やってみる」を体験し、「おもしろい」「できた」で自信にも繋げ、充実した日々を過ごせますように。私も子どもたちの興味を伸ばせるようアンテナを張り、子どもたちと共に考え、挑戦していきたいと思っています。

行事の多い2学期です。その中で葛藤や戸惑いにぶつかることもあると思いますが自身の「やってみよう！」「できた！」の経験が、集団の中で「みんなで出来た！」という心地よい「嬉しい」を味わって、みんなの喜びに繋がる心を感じ取って欲しいと思っています。子どもたちはどんな成長を見せてくれるのでしょうか。

2学期も、ご指導、ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

【緑組】

京都最後の夏祭り、五穀豊穡をお祈りする八朔祭が松尾大社で行われました。「夏祭り」と聞いて、私が子どもの頃の「夏」をふと思い返すことになりました。6月になると「2」の付く日には夜店が立ち並んだこと、盆踊りに地蔵盆（田畑地域の地蔵盆なので、御詠歌を唱える大人の集いで子どもの楽しみは一切ないものでしたが）、小学校の登校日に観る平和教育の映画、プール開放日の蒸した更衣室...さまざまな「夏」の情景が五感を通して呼び覚まされてきました。あの時、あの夏、あの景色...出会った人、もの...子ども時代の経験は、どうしてこんなにも、鮮明で匂いや感触も忘れることなく記憶にとどまっているのか...驚くばかりです。そして、記録的猛暑日続きの夏を過ごした？乗り越えた？子どもたち、そしてお家の方々におかれましても、決して忘れることのない「今年の夏休み」を過ごされたのではないのでしょうか。夏季保育の幼稚園もまたいつもの違い、なんとなくゆる～く、穏やかに過ぎていきました。ほぼ毎日プールに入り、規則正しく昼寝をし、「猛暑」ともなんとか仲良く過ごすことが出来ました。緑組の子どもたちにとって、漸く経験できた「夏休みらしい時間」。そんな夏の記憶を心に体にしっかりと残して...さあ2学期の始まりです。「暑いですね」の合言葉が「涼しくなりましたね」と変わるころ、もう園生活は折り返し地点で

す。そんな風に考えると、1日1日が貴重で、その1日1日をどんな風に過ごすか...とワクワクするのです。1学期、進級と共に目指す指標を失って、ちょっぴり迷子になっていた緑組の5人も、年長としての自覚と方向性を見定め、異年齢の子たちへの対応も心得ました。そして、2学期、就学を控えての話も具体的になってくる日々の中、他者理解を深められるように「人（友達）の話を傾聴し、自分の考えとともに、協力して方向性を見出す」ことを目標の一つとして、生活の折々に子どもたちにその方向性を委ねていきたいと考えています。小さな集団ではありますが、「人の話を聴く」ことは主張する以上に難しく、また自身を俯瞰して観ることによって、折り合いをつけるきっかけにもなるでしょう。この夏の間、すでに精神的な成長を感じさせる場面を見受け、頼もしく感じています。

忙しなく、多くの行事もある2学期ではありますが、それゆえの充実と成長の2学期でもあります。お家の方のご協力をお願いする場面もあるかと存じますが、子どもたちの「今」にもう一回はありません。どうぞ一緒に楽しみ、そして悩み、笑い、喜んでくださいますようによろしくお願いいたします。